

ご参考

事 務 連 絡
平成24年8月3日

各都道府県栄典担当者 殿

大臣官房人事課栄典第一係

平成25年春の叙勲（厚生関係Ⅰ類分野）候補者の推薦について

いつもお世話になっております。

以前より、内閣府賞勲局に設置された「栄典に関する有識者」等から「民間と比較して公務員の受章者が多すぎではないか」という、「官民格差」について指摘がなされていきました。そのような背景から、24年秋の叙勲以降、「公務員推薦上限数」が内閣府賞勲局によって各省庁毎に設定されました。

旧厚生省関係者として推薦している公立病院長、保健所長、保健福祉部長等が対象となる「厚生分野Ⅰ類公務員」についても、過去の平均推薦人員の2割減を上限とする、という査定を受けました。

これまでは、「春秋叙勲及び賜杯候補者推薦要領（平成13年3月6日厚生労働事務次官通知）」で示す推薦人員には官民の内訳はありませんでしたが、今後は「官」については要望どおり推薦するのが困難です。

よって、25年春の叙勲以降当面の間、「厚生分野Ⅰ類公務員」については、以下のように取り扱います。

- （１）各都道府県からの推薦は1名を推薦の上限とする。ただし、総数が推薦可能数を超えた場合は、調整を行う。
- （２）2名以上の推薦を要望する場合は、その候補者は「補欠」とする。
- （３）上記範囲内で推薦された候補者については全て内閣府賞勲局へ要望するが、認められなかった場合には、調整が有り得る（賞勲局の査定結果の提示は、春の叙勲は12月上旬、秋の叙勲は6月上旬）。

なお、「厚生分野Ⅱ類」の公務員についても同様に削減対象となっていますが、Ⅰ類ほどの査定は今のところなされていないため、これでどおり官民の内訳は設けないこととします。ただし、最終的に「官」が「公務員推薦上限数」を超える場合には調整が有り得ます。